



うたづ議会だより

2009
第32号
11.1



(中央保育所 運動会)

Contents

平成21年第3回定例会	2	3
一般質問・研修報告	4	8
研修報告	9	
議会報告会	10	11
議会日誌・編集後記	12	

うたづ議会だより

電子メール：gikai@town.utazu.kagawa.jp

発行：宇多津町議会

〒769-0292 香川県綾歌郡宇多津町1881

☎ (0877) 49-8014

編集：議会広報特別委員会



宇多津小学校プール改修へ

平成21年第3回定例会は9月8日から9月17日まで開催し、認定8件、議案11件、継続審査1件を審議した。一般質問は今回から二日間に分けて実施され、9人全員が登壇し「防犯確立の予算は積極的に取り組むべし」「宇多津小学校の耐震補強工事計画」「保険料と医療費の減免を所得減少者等にも」「道の駅の整備はどうか」「町民の立場になったサービスに」「学校施設の地デジ対策はできているのか」「新型インフルエンザについて」「行政改革の成果」「聖地として莫大な町税を臨海公園投資計画に」などについて質疑が行われた。

主な内容

認定

- ・平成20年度一般会計歳入歳出決算認定について
- ・平成20年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成20年度老人保健特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成20年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成20年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成20年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成20年度坂下墓地整備事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・平成20年度水道事業会計歳入歳出決算認定について

全会一致で継続審査

以上全て全会一致で決算認定

議 案

・平成21年度一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出に3億378万円を追加し、総額を58億6、039万円に

全会一致で原案可決

・平成21年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

全会一致で原案可決

・平成21年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)

全会一致で原案可決

主な補正内容(事業)

・町づくりファンド助成金に

863万円

・平山地区耐震性貯水槽設置工事に

905万円

・宇多津小学校プール改修工事に

620万円

条例改正

・公益的法人等への職員等に関する条例の一部を改正する条例

・財産の交換、譲与、無償貸し付け等に関する条例の一部を改正する条例

・宇多津町学校給食センター設置条例の一部を改正する条例

・宇多津町保育所条例の一部を改正する条例

全会一致で原案可決

〈内容〉町立平山保育所を社会福祉法人へ移管することに伴い、関係条例の改正が必要のため

・宇多津町社会福祉法人の助成に関する条例の制定

全会一致で原案可決

〈内容〉社会福祉法人への助成に対し、必要な事項を定めるため

・ふれあいセンター条例の一部を改正する条例

・保健センター条例の一部を改正する条例

全会一致で原案可決

〈内容〉保健センター内会議室、研修室等の使用料の改正

・宇多津町国民健康保険条例の一部を改正する条例

全会一致で原案可決

〈内容〉国民健康保険の出産育児一時金を暫定的に引上げるため

宇多津町議会主催

第1回全国コンパクトタウン

議会サミット開催

日時 平成21年11月5日(木) 午後1時30分開会

場所 宇多津町保健センター4階 大会議室

参加者 全国で面積10平方キロメートル未満の自治体(山梨県昭和町、福岡県志免町、岡

山県早島町、香川県琴平町及び宇多津町

議会議員)

内 容

講演会 講師 名城大学教授 海道清信氏

演 題 「小さなまちの魅力と豊かなくらし」

円卓会議 議題「わが町の将来と課題」

傍聴のおしらせ

※講演会・円卓会議は、当日受付後、傍聴することができます。

住民の皆様へ

「意見書、陳情、要望書などの受付」について

締め切りは定例会の前月末日(12月定例会では11月30日)までの受付とし、それ以降は次回の定例会の取り扱いとさせていただきます。

Q&A

防犯確立の予算は、積極的 に取り組むべし

Q 再整備後の宇多津臨海公園には、毎年11万人以上の来園者が見込まれる一方で、事故や犯罪などの増加が心配される。今夏に資料館の手すりやフェンスが壊される事件も発生したが、今後の防犯対策への取組は。

A 松井建設課長

オープン時に各場所にて防犯カメラ等を配置し、事件後は感知ライトを設置しました。今後は状況に応じてモスキートーンのような機械等も検討する必要があります。ハント族等への対策は、青パト等の深夜運行を警備保障会社に委託し、状況に応じて通報するなど警察等と連携を図っています。臨海公園の前面道路も時間制限等による駐車禁止を前提に、現在警察とも協議中です。今後取締りで逃げ込めないよう公園駐車を毎日閉鎖する予定で、同時に検討中です。

Q 保健センターの歩行浴室について



平田弘次 議員

3階の歩行浴室は、原因不明の故障により利用禁止状態が続いている。同センターの部屋不足が指摘されている中、使えないのなら廃止し研修室などとして改修した方が効果的ではないか。

A 山下健康増進室長

現在、歩行浴室に隣接したシャワールームをお風呂のない方にご利用いただいております。この方々が出入りをされていることもあって、今の段階で歩行浴室を改修してまで会議室が必要だとは考えておりません。今後、このような状況が変わることにより、ご提言を参考に検討させていただきます。更に、今の保健センター全体の利用状況を考えて、会議室が必要かどうかとか、現在倉庫がほとんど利用できないような状態もありますので、そういったことも含めまして、考えさせていただきます。

宇多津小学校の 耐震補強工事計画は

Q スクール・ニューディール構想を活用して、宇多津小学校の耐震補強工事に、早く取り掛かって頂きたい。また管理棟は、どのような補強工事を行なう予定ですか、小学校全体の計画はどのようなになっていますか。

A 谷川町長

基本的には空き教室の十分な活用を前提に、財政面も勘案し効果的なやり方を考えたいと思っております。総合的に近々判断をして整備計画を立てたいと思っています。

A 藤原学校教育課長

計画案では管理棟の補強工事に一億三千万円程が必要となっております。放送室等の移設が必要になります。空いた教室の利用計画が必要になってきます。今後、管理棟の有効利用等を計画し、できるだけ早期に補強計画をしたいと思っています。

Q 防犯灯設置は

新大東川橋と富士見橋の右岸に



宮本 隆 議員

は、防犯灯が有るが、番場橋より南の左岸と11号線下を通り抜ける所は、真つ暗で安心して通行出来ません。安心して通行出来るよう、防犯灯の設置をお願いいたします。

A 谷川町長

現在、生活路として日常生活される地域あるいは通学路の安全を確保することを優先して、あの場所に限らず町内全般で整備をさせて頂いております。また、防犯灯を作るさいは電柱も立っていますので、かなり経費がかかります。なお、津の郷の自治会からは毎年整備する箇所についてのご要望があり、それにそって今までおおよその対処はさせて頂いておりますことを申し添えます。

A 延住民生活課長

現在、防犯灯が設置されている区間以外では、散歩道等としての利用は見られるものの、生活道としての利用は少なく、今のところ設置の必要性が少なく認識しています。

保険料と医療費の減免 を所得減少者等にも

Q

町国保条例に減免があるが、内容は災害等である。適用した事例は。不明確なので明文化をし、所得減少も含めるべきだ。

医療費も一部負担金減免制度がある。市町村の55%が条例等を定めているが、定めない理由は。

A

馬場税務課長

平成16年の台風16号・23号で被害に遭った世帯は、国の通達を基準に国民健康保険税の減免を適用しました。今後は減免要項等を作成し、災害等による減免・所得減少による減免適用を考えています。

A

山下健康増進室長

一部負担金減免制度は条例、規則の制定がなくても内部規定等で基準を定めれば国民健康保険法第44条を適用して実施ができるものとなっています。ただ、住民の方に更に分かりやすく条例または規則等で定めることも考えています。

Q

網の浦公園に設置する健康遊具の活用を

健康遊具の基数・種類と、始めて設置する理由は。また、今後の設置予定はどうか。

高利用率と適切な使用が大切だが、使用説明の周知は。そして、健康教室等での利用をお考えか。

A

松井建設課長

提案段階ですが健康遊具が6、8種類でその中から地元自治会の要望により決定する予定です。地元自治会の要望を聞いた際に地域性から大人向けの公園にということで、健康遊具を設置することにしました。また、利用方法等はオープン時に説明会をする予定です。なお広報等でもPRしたいと考えています。

今後については、今回の利用状況とか皆さんの評価を聞きながら全体的な計画の中で他の場所でも、それぞれの機能に合った遊具の設置を考えたいと思っています。



大松喜次郎 議員

道の駅の整備は どうなっているのか

Q

県内にも温泉付きや地域のまで、いろいろなタイプの「道の駅」がある。臨海公園では、設備投資も少なく、人手もいらない貸しギャラリーをしてはどうか。

A

宮本産業振興課長

貸しギャラリーなどを始めてはどうかというご提案がありました。今、指定管理者として施設の運営をしている宇多津町振興財団ですが、ここはユープラザうたづを運営し、県下でも有数の稼働率を誇っております。このこと協議をしながら前向きにイベント等をしたいと考えており、ウッドデッキを活用したりミニイベント会場を活用したりしながら独自企画したいと思っています。またそれらの施設を人に貸したりして集客を図っていきたいというふうにも考えています。

Q

保健センターの受付業務について伺いたい。

担当者が変わると予約の仕方変わり、困惑している人が多いと聞くが、利用規約はあるのか。パソコンが活用されていないという苦情や担当者の言ういたずら電話の実態は？

A

山下健康増進室長

使用の全体的な内容は条例や規則にありますが、詳細な利用規約は文書化されていませんので、利用時に必要な内容の規約を考えています。

電話の件ですが、電話で名前も告げずに解約を申し出る、名前を聞くと電話が切れるというようなことが何件か続いたというのが実情です。

今後、担当者と十分協議をし、申請時には利用の方に使用上の注意事項等を十分説明し、ご理解いただいた上でお借りいただき、更に使用の状況はパソコンで分かりますので行き違いのないよう、不信感を持たれないよう十分注意いたします。



西本弘子 議員

Q&A

町民の立場になったサービスに

Q

行政サービスを「町役場の都合に合わせたサービス」から「お客さまである町民の都合を優先するサービス」に、シフトすべきだと思いますがいかがでしょうか、また、フレックスタイムの導入も検討をしては。

A

中尾副町長

ご指摘の行政サービスのあり方につきましては、私どもも決して異論を唱えるものでなく、今後の住民の方々のニーズの動向や高まり、これらを見守りながら、柔軟なフレキシブルな対応をしていきたいと考えております。

また、フレックスタイムの導入の件につきましては、今後の職員数や職務遂行上の管理体制、さらには対象となる職域などについて検討を要することから、現行の勤務条件における一つの検討課題として置かせていただきたいと考えております。

Q

うたづ検定について

今年度、実施予定であります。

うたづ検定であります。検定試験の日程、検定内容及び試験方法はどのような形で行われるのか、また、検定合格の基準、ランクを設定するのか、お伺い致します。

A

合田教育次長

現在、まちづくり、歴史文化、スポーツ、観光、商工業等に関する問題も作成していますが、出題表現が検定に適しているかどうかの確認を宇多津中学校の先生と香川短期大学の教授と教育関係者の三名の方にお願ひしたいと考えており、確認や意見をいただきながら問題を決めたいと考えています。併せて事務局で作成する実施要綱案も確認いただき、この際に合格基準、ランク等を決めたいと考えています。この作業を十月中旬までには済ませ、十月下旬から十一月中旬の間に宇多津中学校全学年を対象に五者択一方式で検定の実施を考えています。



谷川俊博 議員

学校施設の地デジ対策はできているのか

Q

平成23年7月24日にアナログ放送が終了するが、アナログテレビの買い替えなどの対応は出来ているのか。その準備や予算での対応は。スクール・ニューデール構想の活用は。

A

藤原学校教育課長

小・中学校の地デジ対応については、ただいま平成二十二年度の実施に向けて計画中です。アンテナ工事も必要ですので、各施設の調査を行っているところです。

スクール・ニューデールにより地デジ対策を行ってはどうかとのご提言ですが、教育委員会としては、今回の補正予算によりまして、地域活性化経済対策臨時交付金を活用して宇多津小学校のプール改修を予定いたしております。

Q

育成センター所長人事は進んでいるのか？

兼務となっている所長人事について、6月議会で登用したい旨の答弁があったが、その後の進捗状況は？良い人材を速やかに人選して欲しいが。

A

山分教育長

六月議会で、早々に人選を進めたいというふうなことを申し上げました。その後、この方にお二人がいて、お二人の方にお願ひしましたが、ご本人から所長として勤務時間に拘束されるのは、或いはそういう責任を伴うような職務にはつきたくないというような思いを持っておられて、どうしても所長への就任を固辞されました。それでこのお二人については諦めざるを得なかったのですが、そういうことでいまだ選任できていませんが、色々な人のお話を聞きながら、これはと思う人がいれば話を進めたいというふうに思っています。



香川虎生 議員



新型インフルエンザ 対策は

Q 新型インフルエンザは秋から冬にピークが予想される。保育所、学校、福祉・介護施設等の感染予防対策と持病を持つ高齢者、妊婦、乳幼児など「高リスク者」への対応策など万全を期しているか。

A 山下健康増進室長

私どもにできることは住民の方々に正確な情報を伝え、冷静に行動することや、うがい、手洗いやマスクを着用するというような予防法などを広報等で啓発することが重要であり、住民の方々がパニックにならないような配慮等を考えています。また町は、県が九月に策定した新型インフルエンザの行動計画にあわせた内容の行動計画を作成したいと考えています。今後も住民の方々へは、県の指導を受けながら、情報媒体を通じてインフルエンザの感染力や毒性などの情報を正確に伝え、冷静に行動して頂けるような周知活動を実施したいと考えます。

Q ヒブワクチンの助成を

生後2歳までの乳児に見られるヒブ（Hib）による飛沫感染での髄膜炎は、死亡5%、25%の乳児に後遺症が残ると言われる。4回のワクチン費用が3万円前後。是非、町の助成制度を。

A 谷川町長

このワクチンの投与をどうするのか、町単独で施策を組み立ててするのかどうかは今暫く医学的なことなどを調査した上で考えたいと思います。

A 山下健康増進室長

県内で助成している団体はないと聞いています。厚生労働省でも全国の助成状況を把握していない状態です。厚生労働省が定期の予防接種にできない理由は、大多数に予防接種を行った際の副作用の安全性の確保ができていないので、その安全性が確立した上で定期の予防接種とする妥当性等を検討すると聞いています。こういう状況であり、今後の国、県、近隣市町の状態を踏まえ、研究したいと考えます。



青木義勝 議員

行政改革の成果

Q 変えます「職員の意識、職場の風土」という謳い文句で第三次宇多津町行政改革大綱が制定されて五年になり、もう検証すべき時期ではないかと思うが、首尾、不首尾それぞれの自己評価は如何。

A 谷川町長

今後も地方分権、地方主権で行政運営するうえで、職員のマンパワーの向上に十分な意を用いたいと思います。

A 谷川総務課長

大綱の柱は人の改革、組織の改革、事務事業の改革、町政運営の改革、財政構造の改革で、幅広く、詳細な検証は具体的にできていないのが実態ですが、概ね各柱の実施項目に取り組んではおり、内容によっては成果が出るまでもうしばらく時間を要するものがあります。今後の課題としては、実施計画において目標値を具体的に定め、その値をいかにクリアするか等を次の大綱や計画に反映すべきものと考えています。

Q 旧市街地の空き家対策

宇多津町は、都市部と旧市街地に今の日本における地域間格差の縮図を見る。「小さくともきらりと光る町」をつくり持続させるには、旧市街地の空き家対策が課題と思うが、所見をお伺いする。

A 谷川町長

住民が誇りを持って心豊かに暮らすために、空き家対策を含め景観、防災、商業、地域福祉等、ハード、ソフト両面から総合的に整備をしなければならぬと考えます。そのため今町は第二期のまちづくり交付金事業の申請とその事業内容の詰めを行っています。今後、まちづくり委員会のご提言やまちづくりファンドの活用等、住民、民間、行政が一体となり誇りを持って心豊かに住める古街の再生、まちづくりに取り組みたいと考えます。個々の空き家の対策では国の制度等も精査し、取り入れるのにふさわしいものであれば検討に値すると思えます。



藍川佳津樹 議員

Q&A

聖地として莫大な町税 を臨海公園投資計画に

Q

①50億円の海浜計画案県が
棚上

②水族館誘致に2万4千名生徒等
の署名取ったが立消え

③臨海公園5億5千万円で設置

④企業依頼で松の伐採

⑤水族館計画に大手2企業が顔を
出すが立消え

⑥臨海公園、水族館の近くに既成
私有地約4千㎡が存在する

議会議決で知事、県観光協会を
頼ったが、賛意なく的外れた。

水族館計画に参加する企業があ
るのかお伺いしたい。

A 中尾副町長

まず、水族館に関する昨年来か
らの経緯についてご報告をさせて
頂きます。昨年は、原油の高騰に
伴い、鋼材を始めとする資材も高
騰するといった不測の経済情勢に
遭遇し、プロジェクトにおける事
業計画や収支計画についての抜本
的な見直しを余儀なくされたと伺っ
ています。

今日的には、平面プランや俯瞰
図を始めとして、事業計画の見直



井原猛雄 議員

し作業が進められている状況であ
り、先般、設計図書の一部を議員
総会でお示しをさせていただいた
ところであります。

次に、当該プロジェクトを進め
るうえでのスタンスについてであ
りますが、事業内容や事業の効果
に鑑み、当町のみならず県域を越
えた広範な地域にも好影響を及ぼ
すことが考えられます。今後も引
続き、県や観光協会などの関係機
関との連携を図り地域が一体となっ
て、このプロジェクトに取り組む
必要があると考えています。

議会広報研修

平成21年8月25日～26日の2

日間に亘って全国町村議会広報
研修会が東京のシェーンバッハ・

サポーで開催された。この研修
会には全国から492人が参加

した。宇多津町からは2人が参加
した。研修内容は初日が、「わか

りやすい文章表現・表記につい
て」、「情報時代に求められる広

報」、「ネットPR発想で広がる
ステークホルダー（利害関係者

の意味）」とのコミュニケーション
」についての講演などが行

われた。2日目は議会広報クリ
ニックが行われ、私達が参加し

た第3分科会では全国からクリ
ニックに出された町村広報41誌

の内の13町村議会の広報がクリ
ニックされた。議会広報は、そ

れぞれの町で工夫されていると
思うのだが、クリニックする先

生には厳しい指摘がなされた。
この研修を受け専門的な知識を

身につけるとともに、住民の皆
様に更に分かりやすく、読みや

すい、読んで頂ける広報づくり
に取り組んでいきたいと思いま

す。



総務民生・建設教育常任委員会 福島県会津若松市、秋田県、仙北市の行政視察

平成21年7月15日から7月17日にかけて、総務民生・建設教育常任委員会では福島県の会津若松市、秋田県、仙北市の行政視察に参りました。7月15日には、今年の4月1日から施行された、宇多津町議会基本条例の中での、議会報告会の開催にあたり、会津若松市に行政視察に参りました。会津若松市では、議会基本条例を平成20年6月に制定し、議会の活性化に取り組んでいます。市民との意見交換会をはじめ、議会内での議員間での政策討論会等、活発に行われています。その中でも住民との意見交換会においては、議員6人の5班編成で15地区を対象に年間1地区、前期・後期各1回、合計2回開催しております。昨年の6月に議会基本条例が施行されたから、昨年の8月、今年の2月、5月と、すでに3回の開催がされ



ております。内容は定例会（年4回、宇多津町議会では、3月、6月、9月、12月）のあらまし等を報告、報告した内容についての質疑応答、その後、市政、議会運営に対する、意見・提言で、意見交換会が執り行われ、まずはテーマをあらかじめ決めたものと、それ以外の意見や提言を聞くところ、時間を分けています。細部に渡って住民に配慮したのもになっており、すごく勉強になりました。会津若松市は、年間計画で、11月に開催をするスケジュールも住民の方々の意見を十分に聞けるよう、会津若松市を見習い、少なくとも、年2回の議会報告会の開催が出来るよう、議会として、努力して参ります。

まちづくり 秋田県仙北市…角館…

歴史的景観を活かしたまちづくり

「東北の小京都」と呼ばれる角館。1620年から計画的に建設された城下町が、400年の歴史を経た今も、奇跡的に、当時の武家屋敷を中心に整然とした街路が残されており、藩政期における武家の生活空間を現代に伝えている。訪ねて第一に、時代劇の銀幕に飛び込んだ思いがした。歴史の変遷はさておいて、現存する武家屋敷は6軒あり、広い敷地には樹齢300年に余る大木が、歴史の語り部のごとくそびえている。今さら求めても得られない景観は、角館固有の歴史的財産として保存されて然るべきものである。

地域住民による景観協定

この武家屋敷群は、1976年に伝統的建造物群保存地区（伝建地区）に指定されて、歴史的町並みが整備され多くの観光客が訪れるようになった（年間30万人が80万人に）。平成16年にまちづくり交付金事業で、電線地中化や景観に配慮した都市計画街路事業に着手、これを契機に地域住民が景観協定を結び、景観ルールを尊重し

た建築が行なわれるようになった。

伝建地区の苦勞

地区の保存には相応の経済的負担を伴う。これについて、これだけの財産を活かして、何か収益的事業を経営すれば、もっと楽に維持できるのでは、と尋ねたところ、商売をするには、文化庁の許認可が必要で、歴史的景観を謳う以上、派手な営業はご法度で、なかなか難しい、という答であった。

こころあたりが勉強のしどころと心得た。



議会報告会開催される

7月30日 宇多津町議会第1回報告会が開催された。この報告会は3月に条例制定された議会基本条例による報告会として行われた。当日は平日の夜にも関わらず49名の参加があった。議会からは3月議会で可決した今年度の予算を始め、重点施策などの報告がなされた。またフリートークでは8人か



ら「北小の増築」「キッズプラザ増築」「鴨田川の改修」「水路の整備」「文化財の保存・展示」「ゲリラ豪雨の対策」「平山保育所民営化」「海ホテルの物販」「マルナカスーパー付近地下道車両通行止め」「運動場の芝生化」「樹木伐採」などの質問があり、活発な議論がなされた。出席者からの多くが報告会の開催は評価するとの感想がなされ、今後開催の回数を増やしてはとの意見が多かった。また子育て問題などで若い人達の参加が少なかったので残念だとの感想もあった。

質問内容については以下の通りである。

1 キッズプラザ増築に関して

- ・外で遊ぶ子ども達の遊び場を確保して欲しい。
- ・遊び場の安全対策に力を入れて欲しい。
- ・できれば現駐車場内での確保

2 北小増築に関して

- が望ましい。
- A 隣接している中央公園を活用することも考えられる。安全対策については所管課とも協議の上、安全対策を図っていきたい。
- ・将来的に運動場の確保を。
 - ・運動場確保で山口財団に働きかけてみては。

A 増築に伴うグラウンド部分の減少は約385㎡となる。現在の運動場面積は11、290㎡であり、小学校設置基準では児童数721人以上が7、200㎡以上となっているので運動場面積としては確保されている。働きかけは一つのご意見としてお伺いします。

3 農業用水路の老朽化、改良促進を。鴨田川改良工事着手、今後の更なる促進について。

A 県下で当町は農業振興地域に

4 マルナカスーパーセンター付近について

- ・地下道の車両通行止めが周辺の道路から分かりにくい。町単独でも標識の設置はできないのか。

指定されておらず、事業を行うには補助が受けられず町の単独事業となる。現在の財政状況を予測した時、町単独では難しいので、近隣市町のように受益者に一部負担をお願いする方法が考えられるが多くの問題を抱えているのが現状。今後、様々な観点から農家の方々と議論をしていきたい。

鴨田川について第一工区において工事・用地買収を進めているが、管理上の問題も多々起っている。随時対処をしていきたい。説明会については今後適宜開催するよう県に要望する予定。

・信号機の設置が却下になった理由は。

A 信号機の設置については歩道が水路の蓋がけの上にあるというところ、通行量、待ち時間も少ないことから現段階では必要性が少ないと考えられる。また、当該箇所が通学路に指定されており、安全確保のため通学路ありの標識設置予定。

5 穴吹PC工場の北東側の道路に面したソテツの枝が道路側にはみ出しているので切ってもらいたい。

A 枝打ちまたは撤去してもらえよう依頼済み。その結果、香川県生コンより8月12日までに道路上については枝打ちをしますとの返答があった。

6 亀石神社の神輿保存を町内でその他の保存を含めて保存場所や展示場を確保して欲しい

A 神輿については神社での保管ができないため、総代の皆さんの協議で県立ミュージアムに寄贈したと聞いている。また、その他の保存・展示については町に資料館的な施設がないので展示はできないが、資料収集の価値を判断する基準等を作成して、

価値のあるものから収集を始めた。展示は資料等が揃った時点で考えたい。

7 海ホテル、道の駅の物販を早急に。

A 現在、物販業者を募集中。町では臨海公園全面オープンを目処に施設使用者を見つけないと鋭意努力中。

8 平山保育所の民営化の進捗状況について

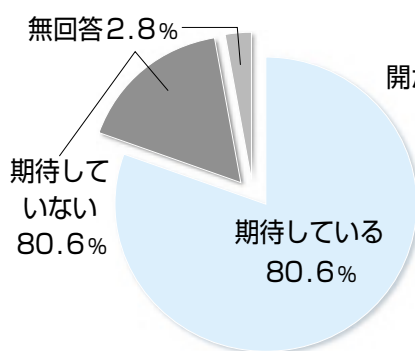
A 8月に宇多津町立保育所移管先法人選考委員会からの答申として選考結果の報告があり、それをもとに民営化を進めていく予定。

9 大門、田町北(円通寺前)の雨水対策について

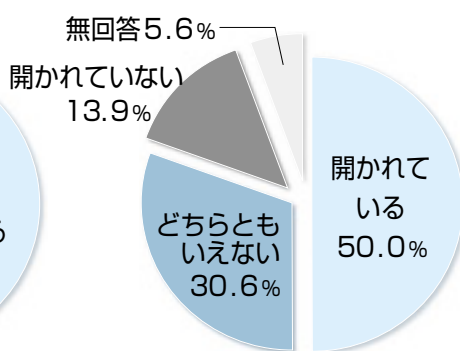
A 三つ岩周辺の雨水排水は一応整備が完了していると認識しているが、改廃のため保水能力の低下により一時的に排水能力が不足するような事態が過去に見られたのでは。改善に当たり、排水能力向上のための整備は困難であるため、流入する推量を減減する手段をとるのが最善と思われる。水道課、建設課で協議しながら進めていきたい。

アンケート報告

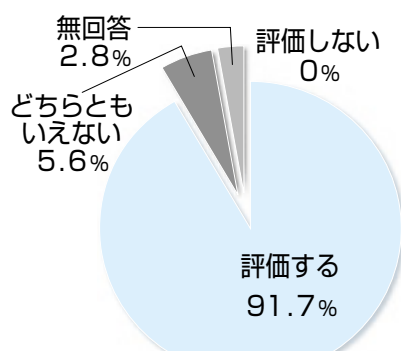
議会への期待について



議会の情報公開について



議会報告会の開催について



7月30日に第一回議会報告会を開催しましたところ、約50人の参加がありました。報告会の開催にあたっては、時間的にも内容的にも概ね評価して頂きましたが、映像の利用や今後の複数回の開催などの要望がみられました。

- ・常任委員会の傍聴開放を。
- ・住民の意見をもとに取り入れて。
- ・傍聴者（特に若い人）が少なすぎる。案内方法の改善を。議会・行政はそのための対策をしているのか。
- ・ボード、映像などを取り入れてはどうか。
- ・傍聴時のアンケートをどのように取り入れているのか。
- ・議会報告会の回数を増やしてほしい。
- ・議会の各委員会の報告は、早く、短くしてほしい。

今回頂いたご意見を真摯に受け止め、また多くの方々が、議会に期待してくださっていることを糧として、今後よりよい議会運営に取り組んでまいりたいと思います。

議会日誌

8月

- 5日 議員総会
- 12日 議員総会
- 21日 議会運営委員会
- 25・26日 議会広報全国研修会

9月

- 2日 議会運営委員会
- 4日 全員協議会
- 8日 第3回定例会本会議
- 10・11日 一般質問
- 14日 総務民生、建設教育合同委員会
- 15日 総務民生常任委員会
- 16日 建設教育常任委員会
- 17日 全員協議会・本会議

10月

- 6日 議員総会
- 20日 総務民生、建設教育合同委員会
- 30日 香川県町議会議員研修会

表紙の言葉



今年も秋の運動会が、幼稚園・保育所の8施設で次々と大変楽しく元気に行われました。今回は、中央保育所の運動会を表紙に掲載させていただきます。

天候が心配されましたが、当日はすばらしく良い天気にもぐまれ、全員で中央まつりだワッショイのテーマどおり、全員が練習した以上に上手く出来た事でしょう。

遊戯やかけっこなど、一生懸命の子供達を見て保護者の方々、またご指導いただいた先生方にも胸に熱いものが込み上げてきたのではないのでしょうか。私達も小さな子供達より、一生懸命という気持ちを学ばせて頂いた気がいたします。

これからも、何事にも大きな心でガンバレ(かがやく☆中央っ子)

開かれた議会を目指して

宇多津町議会では、議会活性化のために、様々な取り組みをしています。

- 定例議員総会（毎月第1火曜日）
- 『議会だより』の作成・発行（年4回）
- 日曜議会などの開催
- 各委員会による調査・研究など

ご意見等は議会へ

（匿名によるご意見等はお受けする事ができません）

議会広報特別委員



宮本 隆委員 大松喜次郎委員 西本弘子委員
香川虎生委員長 池田弘昌議長 平田弘次副委員長

議会報告会を7月30日に開催し多くの住民の参加があった。この議会報告会は3月に条例制定された議会基本条例によるものであり香川県で初めての報告会である。この報告会は議会の役割を明確にし、住民の声を更に議会に活かそうという趣旨で開催されたものである。また11月5日にはコンパクトタウン議会サミットが全国で初めて宇多津町議会主催のもとで行われる。どちらの会議も宇多津町では今までに経験したことのない試みである。議会の活性化を更に期待すると共に、住民に身近な議会、開かれた議会を今まで以上に目指していきたい。(T・K)

編集後記